

市民病院の今後のあり方に関する協議について

日時 平成30年5月30日（水）

市民病院運営審議会終了後

場所 市民病院2階 講義室

1 あいさつ（市長）

2 市民病院の今後のあり方に関する協議の回答案について

市民病院の今後のあり方に関する協議の回答案について

1 これまでの経緯（平成30年2月5日以後）

(1) 平成30年2月8日（木）

市役所幹部職員に状況報告

(2) 平成30年2月22日（木）

市民病院幹部職員から意見聴取（参考資料1のとおり）

(3) 平成30年3月20日（火）

医師会、歯科医師会及び薬剤師会会員にアンケートの発出（アンケート調査結果の概要については、参考資料2のとおり）

(4) 平成30年4月11日（水）

庁内検討会の開催（総務部、健康推進部及び市民病院経営管理部職員）

(5) 平成30年5月8日（火）

市議会協議会において検討状況を報告

(6) 平成30年5月15日（火）

市役所幹部職員から意見聴取及び庁内検討会の開催

(7) 平成30年5月24日（木）

市民病院幹部職員から意見聴取

2 今後の予定

平成30年6月5日（火）

市議会協議会において西尾市への回答案を報告

3 回答案

参考資料3のとおり

市民病院幹部職員からの意見聴取の要旨

職員	<p>医師の確保が大変困難である。消化器内科は6月以降1人になる。 大学から見れば、碧南も西尾も同じ地域として捉えている。 単独で300床の病院が生き残っていくのは本当に厳しい。 5年、10年、20年先にはもっと厳しい状況になる。合併も含めて病院のあり方そのものを考えていく必要がある。 碧南の中でも医療事業がどうなっていくのか、西三河南部西医療圏域での医療の需要がどうなっていくのか、この地域の医療をどう守っていくのか、考えなければならぬ。 西尾市民病院が救急車4,000台、碧南市民病院が3,000台、この受け入れが出来なくなったら、安城更生病院がパンクしてしまう。 これから先、碧南市の医療をどうして行くか考えて協議してもらいたい。</p>
職員	<p>10年先、20年先ではない。当直医が少なくなってきたおり、50歳を過ぎた医師が当直をやっている状態である。 300床、400床という小さな病院では診療報酬の点数がなかなか付かない。大きな病院では、それなりにメリットはある。 昔の病院運営とは違う。国の医療制度もどんどん変わっている。今のままではどうしようもない。 市民の声を聞く場所とか、色々な意見を集約しながら方向性を探っていきたい。</p>
職員	<p>医者がいない。若い人は辞めていく。 10年先、20年先、今後の医療をどうするかを考えていかなければならない。 市民の意見では、市民病院が市の中に欲しいというのは当然だろう。</p>
職員	<p>方法は合併しかないのか。西尾と補えるところは補い合えると思う。 10年後、20年後に1つにするのも案だし、スケールメリットとして大きなものを作っていくのも一つの案である。小さなセンターに集約するのも1つの案である。 現場レベルの提案もできるので、こういった話し合いの場を設けていただけるとは有り難い。</p>
職員	<p>救急は人がいなくて、現状はとても厳しい。 何か手を打っていかないと、10年先の話ではなく、直ぐにでも検討していかなければならない。 診療報酬の改定で、今のままでは経営が立ち行かなくなるだろう。 2つを1つにするのではなく、補えるところは補って。今のままでは駄目、何かを考えていかないといけない。</p>

医師会、歯科医師会及び薬剤師会会員へのアンケート調査結果概要

会員 117 人に送付し、81 人から回答を得た。(回答率 69.2%)

1 西尾市からの申入れに対する対応について

区分	項目	人数 (人)	割合 (%)
ア	新病院を碧南側（現在の場所を含む）で建設する条件なら協議を進めても良い。	32	39.5
イ	西尾市との協議は条件を付けずに進めたほうが良い。	17	21.0
ウ	西尾市との協議は行わないほうが良い。	14	17.3
エ	どちらでもよい・よく分からない。	14	17.3
オ	その他（無回答を含む。）	4	4.9

2 上記1でア又はイと回答した49人のうち、西尾市との協議を進めるうえで、重要となる項目について（複数回答可）

区分	項目	人数 (人)	割合 (%)
ア	病院の場所（現在の場所を含む。）	43	87.8
イ	医療の質の確保（医師確保等）	18	36.7
ウ	大規模災害時の体制（両市の間には矢作川があるため、どちらか一方は橋を渡る必要がある。）	17	34.7
エ	各市の医師会・歯科医師会・薬剤師会との協力体制	14	28.6
オ	病院運営の方法（一部事務組合、指定管理者制度など）	13	26.5
カ	各市の負担金の支出金額（財政負担）	13	26.5
キ	経営状況の改善方法	12	24.5
ク	診療科目・病床数	11	22.4
ケ	西三河南部西医療圏域における状況	7	14.3
コ	経営統合の時期	5	10.2
サ	その他	1	2.0

3 上記1でウと回答した14人のうち、西尾市との協議を行わないほうが良い理由について（複数回答可）

区分	項目	人数 (人)	割合 (%)
ア	碧南市単独で市民病院を維持すべきであるから。	9	64.3
イ	かかりつけ医との連携に支障が生じる可能性を懸念するから。	7	50.0
ウ	人口規模等を考えると条件面において西尾市に有利に進められる可能性が高いから。	7	50.0
エ	統合により救急外来などに支障を生じる可能性を懸念するから。	6	42.9
オ	将来的に碧南市内に市民病院が無くなる可能性があるから。	6	42.9
カ	現状において問題が無いから。	4	28.6
キ	協議がまとまる可能性が低いから。	2	14.3
ク	その他	1	7.1



30 碧 経 第 〇 号

平成30年6月〇〇日

西尾市長 中 村 健 様

碧南市長 禰 宜 田 政 信

市民病院の今後のあり方に関する協議について（回答）

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本市の市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年1月17日付け西病第128号の文書にて依頼のありましたみだしの件につきまして、医療関係者はもとより、関係機関など多くの皆様からのご意見を聴いたうえで検討した結果、以下のとおり回答いたします。

記

- 1 新病院建設について、碧南市内での建設を前提としていただけるのであれば経営統合に関する協議・検討を行うこととしたい。
- 2 上記1にかかわらず、両市民病院の医療連携については、引き続き協議・検討を進めたい。